

2013年2月4日

東北大学電気通信研究所 共同プロジェクト研究会

「光ファイバーネットワークを利用した地震・津波・地殻変動の面的な計測技術に関する研究」のご案内

時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

東日本大震災を契機として、今後の激甚災害に備えるために、地震、津波、地殻変動観測の高性能化に大きな期待が寄せられています。観測システムの高性能化にあたっては、広範囲に及ぶ観測データを迅速且つ正確に伝達するために、情報通信技術が果たす役割は極めて重要であります。

本研究会では、光ファイバネットワークを活用した地殻歪み・重力・傾斜等の面的計測技術の構築を目的として、光通信・レーザ技術ならびに地震・津波をはじめとする地球科学の両分野の研究者の間で、最先端の研究成果と今後の展開について議論を行います。皆様多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

東北大学電気通信研究所 中沢 正隆
東京大学地震研究所 新谷 昌人

記

日時：2013年2月20日(水) 13:00-17:10

場所：東北大学電気通信研究所 2号館4階大会議室

プログラム:

13:30-13:05	開会挨拶	中沢正隆(東北大学)
13:05-13:30	海底探査用重力偏差計の開発	新谷昌人(東京大学)
13:30-13:55	小型絶対重力計用単純自由落下装置の開発	坪川恒也(真英計測)
13:55-14:20	光ファイバ変位計を用いた地球観測機器開発	高森昭光(地震研究所)
14:20-14:45	地下3000m設置、耐高温200℃地震計	和田悟(倉橋護謨工業)
14:45-15:10	月・惑星探査におけるネットワーク観測の試み	白石浩章(宇宙科学研究所)
15:10-15:25	休憩	
15:25-15:50	長期定域観測用海中グライダーの開発	浅川賢一(海洋研究開発機構)
15:50-16:15	海底地震津波観測監視システム(DONET)のこれまでとこれから	荒木英一郎(海洋研究開発機構)
16:15-16:40	MEMS エタロン光加速度計の性能について	荒井和也(倉橋護謨工業)
16:40-17:05	レーザ海底流速計の概念	坂田正治(東京大学)
17:05-17:10	閉会挨拶	新谷昌人(東京大学)

講演参加費：無料

問合せ先:

東北大学電気通信研究所中沢研究室 廣岡 俊彦

(Tel. 022-217-5525 e-mail: hirooka@riec.tohoku.ac.jp)